

裏打ちの方法

用意するもの

- ① 作業する台 : デコラ板 (①⑤⑧で使用、3枚あると良い。)
(コタツ板のように、表面がツルツルしたものがよい。)
(ガラス板は、粘着力が強いので使用しないこと。)
- ② ボール : 糊をとく容器
- ③ 糊刷毛 : 白い障子刷毛
- ④ 撫刷毛 : 毛の柔らかい白い刷毛
- ⑤ 霧吹き : 金製で口で吹くタイプのもの
- ⑥ 糊 : 市販の大和糊
(大和糊をよくのばしてから、米の2番とぎ汁程度の濃さにとく。)
(大和糊のつぶをガーゼでこす。)
- ⑦ 裏打ち用紙 : 宇田(四方を絵の大きさより2cm程度多く切る。)
- ⑧ 裏打ち糊 : 市販のものを1.5倍から2倍に薄めて利用する。
- ⑨ 用紙の押さえ棒 : 裏打ち用紙を押さえるもので、平らなものがよい。

手順

- ① **デコラ版**は、どんなにきれいであっても、汚れ防止のため、2度きれいに拭く。
- ② 絵を裏側にして、デコラ版の上に置く。
- ③ 絵の上に、霧を吹く。
- ④ **撫刷毛**で、必ず斜めの角度でよく撫でる。水が多いところはティッシュで取る。
(空気が入っている場合は、きれいに抜き取り、絵が板に密着しているか確かめる。)
- ⑤ **別の板**に裏打ち用紙(宇田)を乗せ、そこへ**糊刷毛**で裏打ち糊を平均につける。
- ⑥ 糊の付いている裏打ち用紙の端に、**押さえ棒**を付け、押さえ棒に裏打ち用紙の端を少し丸め右手で持ちあげて、左手で棒の反対側の端を持って、デコラ版上の絵の左側付け、デコラ版に置いてある絵の上に空気が入らないように右手で少しづつ重ねる様に置いていく。

この時、端の方から重ねながら、**撫刷毛**で撫でていく。空気は、刷毛で四隅に寄せて抜く。
- ⑦ 次に、裏打ち用紙の4辺の端に、薄めた大和糊を糊刷毛で付ける。
- ⑧ **別のデコラ版**を立てて置く。
- ⑨ 次に、立てたデコラ版を少し手前に傾ける。
その傾けたデコラ版の上部に、持った裏打ち用紙の上部のみを貼り付ける。
この時、垂れた裏打ち用紙が板に付かないようにすること。
- ⑩ 次に、傾いたデコラ版を右手でゆっくり立てていくと同時に、**撫刷毛**でセンターから下に貼り、と同時にシワにならないように、左右を**撫刷毛**で貼る。
- ⑫ デコラ版に貼った作品を上にも2〜3日乾かす。
- ⑬ (外側から乾き始めた場合は、きれいに仕上がる。)(糊がよく付いていなかったり、空気が入っていた場合は、中程から乾いたりして、よく付いていないため剥がれたりする。)
- ⑭ 乾いたものを、はがす。
(剥がれない場合は、布に少し水を付けて、裏打ちした絵の周りに湿り気を与えて、2〜3分放置してから剥がすとよい。)
- ⑮ 絵をカットするときは、額のマットに直接入れる場合は、作品の規定寸法に合わせて切る。
・額のマットの裏に貼る場合は、作品の規定寸法より10mm〜20mmの耳を設けて切る。
・定規を当てカッターナイフでカットする時は、手が滑って、絵を切ってしまう恐れがあるので、内側からは絶対にカットしないこと。
・ハサミは、真っ直ぐにカットできないので、使用しないこと。